

平成27年度 第2回大分市清掃事業審議会会議録

日時：平成27年11月25日（水） 14：00～

場所：大分市アートプラザ 2階 研修室

開 会

大石参事

審議会の成立

委員総数15名中11名の委員が出席しており、大分市清掃事業審議会条例第6条第2項の規定を満たしているため、本日の審議会は成立。

会長挨拶

吉岡会長

一言だけお話しさせていただきます。どのような事業でありましても「PDCA」というプロセスが行われております。Plan・Do・Check それと Action ということです。英語で言うと非常に高尚なものに聞こえますけども、要は「計画して行ってみて反省して、そして次に活かそう」というサイクルをずっと行っていこうというのが「PDCA」と呼ばれるサイクルであります。この審議会が答申いたしました、ごみの問題につきましても有料化という方向で答申をいたしました。それが実施されておよそ1年が経過しております。比較的スムーズに有料化に移行したというふうに思っておりますけども、Check の時期に入ってきたということでございます。そして Check の結果を活かして次の Plan をどうするかという改善案をこれから話し合いをしていきたいというふうに思っております。この他の予定といたしましては事業系ごみに関する報告を受けて質疑応答等が重なっていくものと存じます。12月も近い時期、お忙しい時間をこの会議に来ていただきまして感謝申し上げますと共に、これからの大分市のごみ問題の解決のためにどのような方法を採用すべきか活発に議論して参りたいと思っております。以上で挨拶を終わります。

傍聴者

本日の傍聴者なし

議事録署名委員の指名

阿部委員と大久保委員を指名

報告事項 1

事務局（清掃管理課）

「家庭ごみ有料化制度 1 年目（1 2 か月間）の実施状況と今後の取り組みについて」説明

【質疑応答】

吉岡会長

ありがとうございました。只今のご説明について、多くの数字が並んでおりますけども、データ等につきましてご質問等ございませんでしょうか。

委員

よろしいですか？

吉岡会長

はい、どうぞ。

委員

すいません、ちょっとお伺いしたいと思います。今、詳しく説明がありましたが、本当にこの 1 年間ご苦労様でした。皆様方環境部の方が頑張ったおかげだと思いますが、スムーズな移行ができたということ、ごみの減量の方も良かったということで本当に一市民としても嬉しいと思います。そこでお伺いしたいのが、報告事項 1 の下、4 番目の不適正排出の下の方の不法投棄についてです。

例年に比べ大きな変化は見受けられないということですが、不法投棄されたごみの内容などはどうでしょうか？今までと違っているのか、それとも今まで通りなのか、その所をもう少し詳しくお願いします。

また場所はどうでしょうか？監視員の方が見つけるのは同じような所か、また有料化が始まって量は少ないがいたるところにあったりしないか、少し教えていただければ私たちも自治会として皆さんに周知することができるんじゃないかなと思っております。

以上 2 点ほど教えてください。

事務局

産業廃棄物対策課の川野でございます。只今のご質問にお答えいたします。

不法投棄されている場所についてでございますが、これにつきましては特に人目につきにくい山間部等に多くあるということが特徴として挙げられます。

また、不法投棄された廃棄物につきましては、一般廃棄物と思われる家電品や日用品などの廃棄物が多いということが特徴的なものとなっております。以上でございます。

吉岡会長

よろしいでしょうか？

委員

はい。

吉岡会長

他にございますか？

委員

よろしいですか？

吉岡会長

はい、どうぞ。

委員

意見ではないんですが、8ページの一番下に紙類の報奨金の単価が1キログラム当たり3円から5円に引き上げましたということで、うちの老人会でその話をいたしました。

私はただ報奨金が上がりましたよと報告をただけなのですが、皆さんから反応をいただきました。以上です。

吉岡会長

はい、ありがとうございます。関連してご質問しますけども、8ページの有価物集団回収の推進事業ですが、回収されたものは市の回収ごみの量として計算されるんですか？

事務局

清掃管理課の和田と申します。今のご質問ですが、有価物として回収した分については数字的には含んでおりません。当然、その団体の方で回収されて業者さんの方に売った分については団体の方の収入となり、別に報奨金が出るという形となっております。

吉岡会長

特に有料化になって紙類の回収率が上がっていないという話がありましたが、有価物回収の量は増えているのですか？

事務局

清掃管理の和田です。先程もお話のありました平成26年度から報奨金を3円から5円

に引き上げたということで、特に今年ですが有価物の回収団体の数が増えておりますので量としても増えている形となっております。

事務局

補足説明です。清掃管理課の大石と申します。

27年度は年度途中で回収量の方は把握できていませんが、25年度と26年度の有価物集団回収の実績が挙がっておりますので紙類だけで申し上げますと、平成25年度は3,099t、平成26年度は3,241tということで142t増えております。有料化の影響や、また報奨金を増額したことにより増えたのではないかと事務局では推測をしております。以上でございます。

吉岡会長

多少増えたにしても驚くほどの増え方ではないんですね。他にございますか？

委員

ちょっとよろしいですか？

吉岡会長

はい。

委員

1ついいですか。この8ページのところで制度導入、それから改正した事業についてということがあります。黄色くマーカーしてありますが「クリーン推進員総会等補助金」ということで500円から1000円になった、素晴らしいことだと思います。それで2点ほどあります。

1点目は、今年度、27年度は活発化・活性化・発展のために予算関係を上げる予定があるのかということです。

2点目は、クリーン推進員さんの校区のところを一つお伺いしたいと思いますが、数字はどうなっているのでしょうか。26年度に校区の連絡協議会が17校区、27年度8校区、27年度目標が20となっておりますが、これをトータルしますと45校区となる。校区は52ということになっていると思うのですが、ここの中でお伺いしたいのが26年度で17校区が済んで、27年度は10月までで8校区とぐっと下がっております。27年度は予定としてあと20校区したいとなると、絶対的な時間が少なくなってくる。何か尻下がりな気もするのですが、ここの推進もしていただきたい。数字的なものは組織ができていないからこのような数だろうと思うのですが、そこのところもお聞かせください。よろしいでしょうか？

事務局

清掃業務課の斉藤と申します。よろしくお願ひいたします。

まず1点目の27年度予算の関係を引き上げる予定はあるのかということですが、今年度に補助額を一人あたり500円から1000円に上げたということで状況を見ているということもありますので、今のところ引き上げる予定はございません。

2点目の目標値に対して少ないのではないかという事についてですが、確かに52校区の内昨年が17校区、複数開催している校区もあり実際は30数回になっておりますが、今年度につきましては今のところまだ8校区ということです。このようなことから、先月にまだ研修会等を開催していない校区の会長さん宛に開催に向けてのお願いの依頼文を出しているところがございます、お陰様で今月は今のところあと2回校区開催で、8校区プラス2校区となっておりますし、また何校区かお問い合わせ等もあっております今後いくつかの校区で開催出来るかと思ひます。全体に対しますと20校区でも5割に満たない校区でありましてまだまだ少ないのですが、今まで校区で集まった事の無いところにつきましては声かけ等も非常に難しいような状況もございまして我々がフォローしながらお願ひをしているところがございます。実際、開催ができないというところもございしますので、来年度に向けて多くの校区で開催できるよう対策を考えながら取り組んでいきたいと思ひているところがございます。以上です。

委員

併せて組織を未結成のところにも働きかけをお願ひします。ごみについて地域の横の繋がりもできてくると思ひます。頑張ってください。

事務局

はい、わかりました。ありがとうございます。

委員

はい、よろしいですか？

吉岡会長

はい、どうぞ。

委員

私は大道校区のクリーン推進員をさせていただいております。大道校区の事でお話をしますと違った現状の校区もあるかもしれません。大道校区ではまずクリーン推進員を選ぶのが大変です。クリーン推進員に限らず役職は大変で、うち16人中9人が各町内で他の役員を兼任しています。他の役員をしながらごみ収集のパトロール等をしていて、委

員や行政の方が言われるように年に1回ないし2回クリーン推進活動について協議するというのは理想ですが、皆の予定をすり合わせて集まるのもとても大変という実情があります。私は2年前まで大道校区のお世話係の長をさせていただいたので、集まるのが無理ならば報告書だけ清掃業務課に提出するよう呼びかけたところ何を書けばよいのか分からないということで、通勤中にごみステーションの気になった事とかマイナス面だけでなく良くなった所などを記入して欲しいとお話しして、大道校区ではほとんどの方が報告書を出してくださっていると思います。クリーン推進員が何をしなければいけないのか。ごみの問題はとても広いです。毎日パトロールをする訳にはいかないし自治会の方々に呼びかけをするのも仕事だけでもどうすればよいのかわからず頭を悩ませている校区のクリーン推進員の長の方もいらっしゃると思います。「こうしたら上手くいった」ということを校区会長さんに教えていただけると、まず真似から入っていけるかなと思います。現状はたぶんクリーン推進員は引き受け手がないので自治員等と兼ねてるとかだと思うので、よろしくをお願いします。

委員

どこの自治会でも大体同じようなことがあると思います。なかなか委員になる方がいらっしゃらなくて、最終的にはアミダくじにする自治会もあるようですね。

委員

みんな大事なことは分かっているんです。

吉岡会長

他にご意見ございますか。

ごみの有料化をきっかけにして細かいデータを出していただいたんですけど、地区によって大きく違うというような事はございますか。例えばクリーン推進員が懇談会を開催した・しないで条件が地区によって違いますね。クリーン推進員を置いたことがプラスになっているかマイナスになっているかも含めて、地域ごとに排出量なり回収量はどのように変化したかということを見ることは可能でしょうか？

事務局

清掃業務課の斉藤と申します。

データの中で不適正排出の状況について申しますと、地区ごとの違反袋のデータは取っておりませんのでその差はわかりません。しかしクリーン推進員の方々には常日頃より地区で啓発活動に取り組んでいただいておりますことから、地区としてもクリーン推進員を置くことはプラスになっていると思います。

また、地域ごとに排出量を見ることは、難しいと思っております。毎年一回「ごみ量調

査」ということをやっております、各ごみステーションから約何キロのごみが排出されているということを記録しております。それを基に収集コースを作成しております。自治会内のごみステーションを拾っていけば量的なものは出るかと思いますが、これまで過去の統計等もございませんので比較することは難しいと思います。

吉岡会長

地域ごとは難しくてもルート単位であれば割と簡単にできるわけですね。

事務局

ルートも毎年収集コースが変わるものですから、それも一概には言えないと思います。

吉岡会長

そうですか。

委員

すいません、初歩的な質問です。

吉岡会長

はい、どうぞ。

委員

私はクリーン推進員が設けられた最初の時からクリーン推進員を仰せつかっているので10何年になるのですが、その私が聞くのは少し恥ずかしいのですが、最初に聞いた時は清掃業務課の方々が目の届かないところやルールを守れていないところを見つけて報告をして一緒にパトロールをすると受け取っていたんです。最初の頃はごみステーションで収集の無いときはそこがごみステーションだと分からないようにしようという目標を聞いていたのがやはり難しいということで、カラスや野良猫対策でごみステーションと一目でわかる形になってきているというのも一つありますが、クリーン推進員としては清掃業務課の方が気が付かないところを報告し、一緒にきれいにする役目というふうで大雑把に捉えていて良いのでしょうか？私はそう思って何かあった時は連絡していたのですが。

事務局

はい、もちろんそういったことも結構でございます。クリーン推進員さんの役目を大まかにいえば、地域でごみの正しい出し方の指導をしていただくとか、ごみステーションを見ていただいてマナーの悪いところは市の職員と一緒に指導に入らせていただくとか、そういったことをお願いしている状況でございます。

委員

基本はそれで良いということですね。

事務局

結構でございます。

吉岡会長

はい、どうぞ。

委員

私どもも何か問題がおきましたら何人かでお願いをしに行つて、それでもなお聞いてもらえない時はクリーン相談員さんにお願いをします。私たちも、委員さんでなくてもそのように思っております。

吉岡会長

はい、ありがとうございます。他にございますか？はい、どうぞ。

委員

自宅のごみの出し方を見ておりますと「燃やせるごみ」の日でも資源物である古新聞に全部包んで中身が見えないようにしております。どの家もそうやって出しているんですよ。新聞は資源物と言いながらも、結局ごみを隠して出すための道具なんです。ですから「燃やせるごみ」に資源物、特に新聞紙などが入るのは仕方がないのかなど。それとも袋も中身が見えないように濃い色にするというのも手ですけど、そうすると今度は回収の時に何が入っているのか分からないと問題が出てくる。かなり難しいなというふうに考えております。

委員

そうですね、そういう所もありますね。

吉岡会長

報告事項1の2番の課題の①に、今話に出ました燃やせるごみの中に紙類が1割も混入しているとあります。事務局にお尋ねします。この1割というのは重量ですか？水分補正をしない重量ですか？

事務局

清掃管理の和田です。

この1割というのは組成量で、「燃やせるごみ」の中の調査をしたときの重さで見えておりますので、体積的には3割とか4割ぐらいになる可能性もあります。

吉岡会長

重さで見ているということはたぶん湿った状態で見ているはずですので、他の所から水分が紙に移って見かけ上の重さが大きくなっているという事はあり得ますね。厨芥から水分が移って紙の重さが増えてるということになるかと思えます。乾燥状態にしてしまえばこの1割は5%とか6%の数字に変わってくる。これからさらに紙を無くすというのは現実問題至難の業であろうと思えます。できる範囲のことをある程度努力して成果が上がることをすべきで、やってもやっても減らないものにエネルギーを集中するのではなくて少ないエネルギーで効率よく減らせるところはどこだろうかということを探して計画していった方が良いのではないかなとも思えます。何か紙類を減らす方法というのはございますか。アイデアです、当たっていても当たっていなくてもそれは構いません。

委員

小さい紙類を捨てそうになるので、常に小さい袋を置いておいて紙を入れるよう啓発するとかどうでしょうか？

吉岡会長

我が家の話ですが、普通のごみ箱の横に紙専用のごみ箱を置いてあるんですよ。ごみが発生するところに分別ができるようなパターンを置いておくと比較的簡単に捨てられて良いんだと経験上わかりますね。スーパーで見てきたんですが、段になっていて側面が開いて分別ができるごみ箱は高いんだなと思ひまして、ああいった物に補助金を付けたら良くないですか？

委員

こんな少し厚みのある、底に余裕のある封筒、大きい物を置いておけばかなり入ります。

吉岡会長

男性は女性と違ってもっと怠け者でして、完全に口が開いていないと入れないんですよ。

委員

これも口を開けとけばいいんですよ。

吉岡会長

どうでしょうね。

委員

余裕があればかなり入ります。

吉岡会長

デザインの的にどうですかね。大抵ごみの出る所は居間とか人の集まる所が多いと思います。そうすると、ある程度デザインの的に格好良くないとなかなか「市のために、ごみのためにやります」と言っても上手くいかないの、良いデザインで簡単に発生場所で分別できることをアイデアとして出していただけるととてもありがたいのですが。

委員

ごみ箱を丸いのじゃなくて細長い物に替えて二つ置けばいいのでは。

吉岡会長

長方形で真ん中区切って、こっちはプラでこっちは紙で。

委員

議長、よろしいですか。

吉岡会長

はい、どうぞ。

委員

今の話と直接関係無いのですが、これからお歳暮のシーズンになります。今はトキハさんでも簡易包装っていいですが、それでも沢山来るとうんざりするほど仕分けが大変です。今の時期、たぶん市報か何かに入るとは思います。業者さん向に簡易包装を徹底するのもそうだし、家庭向けに仕分けについて励ましがあると良いかなと思います。

吉岡会長

昔ほど簡易包装云々という話、今は聞かないですよ。一時期は非常によく聞いたんですけど。

委員

節電もそうですよね。

吉岡会長

その評価いかがですか。

委員

あの、トキハです。全てではありませんが、全包装はなるべく止めるような形で、腹巻のような、ぱっとかけるだけの簡易包装に移行している状況でありますので、さらに努力したいと思います。以上でございます。

吉岡会長

先ほどからごみ箱の話は終わったようですが、後は生ごみの水分の問題になってくると思います。水を蒸発させて焼却するために大量の灯油を使わなければならないということも変な話で、どうやって水分を少なくするか。それができると新聞紙に吸う量も減ってくる、重さとしても減った形になる、ということになるんですが何か良いアイデアはありませんか？昔のように三角コーナーがあって穴開きのポリ袋に入れて最後にギュッと絞れと言うけれど、なかなかギュッと絞るのは抵抗がありますよね。

委員

今は生ごみがすぐ見えなくなりますね。

委員

今はコンポストだったり生ごみ処理機が色々出ておまして利用されている方もいると思うのですが、そのご意見いかがでございますか？

吉岡会長

うちはコンポストを大変多く利用しておるのですが、自分で野菜を作っているものでクズが多いんです。で、ほとんど満杯状態が多いですね。よく使います。

委員

場所をとりますね。

吉岡会長

場所をとります。それとたまにハエとか不快害虫が発生する場合もございます。

委員

私も機械以外は一通りやってみて、今はボカシに戻りました。「これだけごみが減ったな」と分かったと嬉しい気持ちになりますが、ボカシがなかなか手に入らないです。

委員

ボカシとは何ですか？

委員

ボカシご存知ないですか？

委員

はい、知りません。

委員

ほとんど生ごみ処理容器で生ごみを処理するので、ごみは本当にいつもミニ袋で出すだけです。生ごみは全部ボカシの容器に入れまして少し発酵させて、それが一杯になったら大きなコンポストにいれます。ごみそのものは本当に軽くなります。うちの会ではそういう勉強会を開きますが、ボカシの発酵具合にスーパーや道の駅で品質の差がありますね。

委員

以前は私どももボカシを作ってたんです。それを止めましたので少し手に入りづらくなりました。

委員

うちは地区の女性の会でボカシを作ってますので、公民館に買いに来ればいつでもあります。

吉岡会長

すいません、質問です。ボカシっていくらなんですか？

委員

小さい1キロ袋が100円位ですね。

吉岡会長

1回で100円使うんですか？

委員

いえ、その内の一握りだけ使います。夏場はたくさん投入します。生ごみを入れて押さえたものに降り掛けて置いておきます。

吉岡会長

都会の方では土地というような物もありませんしマンション等はどうでしょうね。

委員

大きいのは最初はやったけど邪魔になってくるんです。結局ボカシに戻りました。

吉岡会長

でしょうねえ。もっと手間のかからない、水分だけを除く方法はないですかね。
昔のジュース絞り器ってありますよね。あれで生ごみって絞れますか？

委員

入りますか？生ごみは多いから。

吉岡会長

もっと大きいものや、入る道具があったとして。道具が無かったら作ればいいんだから。
各家庭に漬物石があるなら漬物石を代用してもいいし。

委員

これだけ減るなと思うと嬉しくなりますけどね。

吉岡会長

結局意識が高くないと難しいということですね。では意識を高めるために何かありますか？

委員

うちは、生ごみはディスポーザーを使っています。水と一緒に下水に流すと大分市の終末処理場の方の負担で処理されるんじゃないかと思いますが、普及する方が良いのか、それとも終末処理場とかに負荷がかかるので止めた方が良いのか、考えた方が良いのではないかと思います。

吉岡会長

懐かしい話がきました、ディスポーザーとは。昔、大学生であった頃、私はディスポーザーで処理をできるかということを研究したことがあります。下水道にはすごく負荷がかかります。パイプに詰りが生じますので酵素を流して解消しようとするのですが、コストがすごく掛かる。アメリカなんかでは今でもディスポーザーを使って生ごみは全部流して下水処理場で処理するというをやっている所もあります。その為には最初沈澱池を大きくしてよく最初に落として、よく水を絞って燃やすというような少し独特な方法を採用しないと難しい。現状のままでやるとすごい負荷がかかって、今度は川の方に問題が流れていきます。工場等は分かりませんが、今は国内の普通の一般家庭ではディスポーザーは

ほとんどやっていないはずですよ。

委員

マンションに設置されていますね。

吉岡会長

おそらく下に集中浄化槽があるとおもいます。そういう所でないと一般的には使えないため、初めからそういう設計をしないといけない。

他に何かアイデアはありますか？

そういえば、プラスチックでよく分からない所がたくさんあります。色んな種類のプラスチックがありますが、プラスチックで包装されたごみであればどれでも良いのですか？何かは悪いという話を聞いたことがあるのですが。

事務局

清掃管理の和田です。

プラスチック類は「燃やせるごみ」と「資源プラ」と言っている物があると思います。

プラマークが付いている物については容器包装リサイクル法に係る資源物ということで、それをまとめて容器包装リサイクル協会に委託して処理をしてもらっています。その他のプラスチック類については、回収して資源化するという必要かもしれませんが、先程会長がおっしゃいました通り色々な種類があるものですから、リサイクル可能な品質の分だけを取り出すことが難しい、また分別するのも分かりづらいというところで今後何か良い方法はないかと研究しているところであります。

吉岡会長

良く迷うのはプチプチと潰すやつです。あれはどちらになりますか？

委員

あれは資源プラですよ。

吉岡会長

資源プラですか？塩化ビニールだと思っていました。

他に何か良い方法はありますか？

特に無いようでしたら原点に戻りまして、ごみの量を今後どのくらい減らすかという目標値がありましたよね。

事務局

すみません、それは報告事項2の方でさせていただきます。

吉岡会長

ああ、2の方ですね。ではそれはパスしてもう1つ。報告事項1の1枚紙の所です。

「今後の取り組み」について今後こういう事をやっていきたいというふうに市の方はおっしゃっていただけますが、プラスする所や止めた方が良くと思う所はございますか？

委員

いや、これで良いと私は思います。今、市の方はできる限り頑張ってもらっちゃると思います。

吉岡会長

充分な努力をされてさらに、「乾いた雑巾をさらに絞る」ような工夫をこれから続けていくという決意だそうでございます。

委員

さきほど別の委員もおっしゃいましたが、結局は個人の、市民の意識になると思います。それを言うところいう会を開いている意味がないようだけど、先程話をした「タイムリーな分別情報等の全戸配布」は引っ越し等の時期にあたる3月なんかにすると思い出すように意識を高められて自治会でも重宝しています。

吉岡会長

はい、うちも冷蔵庫に貼ってあります。

委員

それと冊子ですね。

委員

両側に段ボールを貼って穴を開けてゴムを通して、見るときは引き出してあげると扱いやすいし、見ない時はポコンと元に戻るようになっています。

吉岡会長

なるほど、見やすい工夫をとということですね。

「不適正排出、不法投棄、野外焼却の状況」については先程もご質問等ございましたので、追加することはございますか？

委員

聞いた話ですが、松岡の方ですけど山の持ち主が自治会長さんに話をして鍵を借りないと山に入れないのだそうです。不法投棄があるので囲いをしてしまって、という話を聞きました。

吉岡会長

私道を閉鎖したということですか？

委員

詳しいことは分かりませんが。

吉岡会長

入れないようにしたということですか？

委員

行きたい方は自分が誰々だというふうに言って鍵を開けてもらおうそうです。

吉岡会長

それぞれ色んな工夫をされているようですね。

事務局

産業廃棄物対策課の川野でございます。

只今のお話につきまして、周辺的生活環境に支障があると大変困りますので情報として提供して頂けると必要な場合にはうちの方でしっかり調査させていただきますのでよろしく願いいたします。

委員

おそらく支障は無いと思いますけど、自分の山に行きたい時にいちいち言いに行くのもおかしい話だし、しかし止めると不法投棄があるからという話のようです。

吉岡会長

「どうしてくれ」というんじゃなくて「こういう状況ですよ」と教えてあげるのも市の人にとっては便利かなというふうに思います。他にございますか？

後は5番目のところで「有料化制度導入に併せて改善した制度」というのがいくつかありますが、これについて何かご質問ございますか？

全体に亘ってご質問等ございますか？

特に無ければこれにて本日の最初の議題「家庭ごみ有料化制度導入1年目（12か月間）の実施状況と今後の取り組みについて」を終了したいと思います。

それでは報告事項2「事業系ごみ処理量の現状と課題、本年度からの取り組みについて」、事務局よりご説明をお願いいたします。

報告事項2

事務局（清掃管理課）

「事業系ごみ処理量の現状と課題、本年度からの取り組みについて」説明

吉岡会長

はい、ちょっと伺いたいのですが、事業所は大分市にいくつあるんですか？

事務局

2万から2万強ということですよ。

吉岡会長

はい、事業系ごみについてのご報告でございますがご質問等ございますか？

以前、たしか有料化になった時に事業系ごみも値上げしましたよね？

事務局

はい、おっしゃる通りです。

吉岡会長

あの時にごみ量は減ったんですか。

事務局

清掃施設課、志堂寺でございます。

事業系ごみの量自体はそれほど減ってはおりません。今はトン当たり1万円になっておりまして、平成26年の7月1日から事業系一廃の手数料が上がっているのですけれど、26年度でも25年度と比較しますと可燃物で45,640tから47,316tに増えておりますので、手数料の上昇分があまり表れていない状況でございます。

吉岡会長

事業系ごみの可燃物の中で紙類は多いんですか？

事務局

清掃施設課、志堂寺でございます。

紙類はやはり多くございますが、基本的に私ども清掃工場では紙類は持ち込まないようというお願いをしております。それは家庭ごみであっても事業系ごみであっても同じであります。それでもやはり混入しているのが実情でございます。

吉岡会長

次いでお訊ねします。家庭ごみで10%の紙ごみが問題になってきたけども、事業系ごみの紙類の混入率はどれ程ですか？

事務局

清掃施設課、志堂寺でございます。

大変申し訳ございません。事業系ごみは組成調査というものをしております。

家庭ごみの場合にはいくつかのステーションから持ち帰って事業所の方で内容物別に重さを量るということをしておりますけれども、私共、工場では直接ピットに投入いたしますのでそういうことができない状況にあります。

今後いくつかの業者をパッカー車から直接というような形で検査するのか、検討は必要だと考えております。

吉岡会長

どなたかご意見ございますか？

めくっていただいて2ページ目、「本年度からの取り組み」というところで大規模事業所というのは割としっかりやっている所が多いのではないかなと思うのです。そこでさらに乾いたタオルを絞るよりも残りの1万9千何軒の中小規模事業所をいかにするかということが大きな課題になろうかと思えます。それに対する対策として商工会議所を通じてと書いてございますが、現実問題、商工会議所経由では実効あることができるか少し疑問に思っておりますけど、如何でしょうか。

事務局

清掃管理課、和田です。

大規模事業所の方を数ヶ所見に行っておりますが、おっしゃる通りきちんとされております。しかし、まだ120社の内の数社でありまして私共も実態を把握できていないところがあり指導方を模索中ですので、大規模事業所の調査で経験を積んで、今後中小企業の方も取り組んでまいりたいと思えます。

現状では、業種ごとに指導して回るということになるかと考えております。

吉岡会長

なんだか無理難題を言って靴の底が随分減るような事を強制しているような気がしますけども、何とか効率的に皆が意識を持ってやっていただければありがたいというふうに思っております。事業者の方から何かございませんか？

委員

大分商工会議所です。大分市内約1万社の事業所がありまして、その内の6千百事業所が大分商工会議所の会員でございます。その6千百事業所を訪問してというのはなかなか難しい問題です。私どもにできるのは会報を毎月送っていますのでその中に啓発の資料や分別のパンフレットを同封してご協力いただくという形になろうかと思えます。

吉岡会長

そういう物を送っていただく時に市の事業者向けに作った資料を同封できるというような事はございますか。

委員

ええ、同封いたします。ただ、若干の手数料はいただきます。

吉岡会長

ということなんですけど、ご参考になってください。

他に事業系の方いらっしゃいませんか？はい、どうぞ。

委員

私の方は中小企業ですので商売柄色々な種類のごみが出ます。全て業者に取りに来ていただくのですが業者の方が厳しくて古紙、段ボール、プラスチック類、それと封筒もプラスチックが付いている物は剥がして分別をして、面倒ですが徹底づけられています。週に2回ほど取りに来ていただいていますので業者としてはちゃんとできているのではないかと思います。商工会議所の方にも入っておりますので封書で事業所に送られてくる分を見てちゃんと徹底をしております。

吉岡会長

ひょっとして優良回収業者じゃないけど、そういったマークのようなものが会社の玄関に付いているんですか。

委員

一応、お願いをしています。何社かあってそれぞれ見積もりを持って来てくれますので、

安い所に長いことお願いをしています。

それと、社員が食べるお弁当をとる業者さんは、今はお弁当箱を使い捨てではなくて回収するので、その辺のごみも出ないようにしています。あとはもう、回収業者が厳しいです。

吉岡会長

ということは厳しい業者を育てた方が早いかもしれないですね。

はい、どうぞ。

事務局

1つの課題としてお聞きいただきたいのですが、家庭ごみと違う所と同じ所がありまして、同じところはやはり意識なんだと思います。違う所は企業のCSRといったインセンティブですね。「うちの会社は経常利益もあげているけど社会にも貢献している」と、こういった切り口があるんだろうと思います。今年の4月1日から市の中小企業振興条例の中で地域の活力、あるいは社会への貢献といったものも中小企業の1つの大きな役割ではないかということで位置づけをさせていただいたところでもありますので、まだ環境においてはこれからの取り組みですが産業の環境化、あるいは環境の産業化といったことの意味で、企業のCSRといったことでなんとかインセンティブを働かせられないかと思います。

先程、委員さんがおっしゃいましたが6千社あるいは1万社以上、病院等入れるとおそらく2~3万近くなるんだろうと思います。1軒ずつ職員が回っていくというのは100年あってもおそらく回りおおせないと思いますので、そういった政策をこれから市も考えていきたいと思っておりますし、またこういった審議会でお知恵をいただければと思っておりますのでよろしくお願いたします。

吉岡会長

他にご質問、ご意見等ございませんか？

はい、どうぞ。

委員

今の議事と離れますが、大道校区の住民を代表してお礼です。

ごみ収集車がとても早く、きちっと予定通り回ってくれるようになりましてとても感謝しています。いつまでもステーションにごみがあると次々いい加減に出していく人も増えるしカラスや野良猫の被害がありまして、ほんの4~5年前までは立場上連絡をうけて対応に追われることが多かったんです。それが今は全くと言ってよいほど無いです。運転手の方もすごく愛想が良いとお爺ちゃん、お婆ちゃんが言っています。大道は狭い道が多いので「今からトラックが停まりますよ」とか言ってくださっているようです。それを言う

よう強く頼まれましたので、よろしくお伝えください。

吉岡会長

なかなか褒められることは少ないですけど褒められました。サービス業ですね、我々は。

委員

ありがとうございます。

吉岡会長

他にありますか？

1つお尋ねですけど、報告事項2の最初のページの下の欄の所に実績と目標値の差というのがありますが、結構多いんです。これは埋まりますか？

埋まらないとは言いにくいかもしれませんが、現実問題としてこれから何年か後に本当にこの数字を到達目標として考えるべきなのか、それともこれ以上タオルは絞れんよと考えて計画そのものの見直しをするべきなのか、ということについてはいかがお考えでしょうか。

事務局

清掃管理課の大石でございます。

まずここに挙げている数値目標でございますが、大分市一般廃棄物処理基本計画の中で、29年度を目標年次といたしております、その中で排出量は家庭ごみと事業系ごみで、145,000tということでお示しをしております。先程会長が言われましたように、なかなか遠い目標ではないかということではございましたが、あくまでも計画作成時には、145,000tという排出量を目指していくということで変更はございません。

ただ、来年の話になるかと思いますが、次回の一般廃棄物処理基本計画は、1年前倒しでの見直しを考えておりますので、その時には目標値を含めて回収量・資源化率・リサイクル率等含めまして精査をしながら目標値を設定していきたいと思っておりますのでご理解の方をよろしくお願いいたします。以上でございます。

吉岡会長

はい、他にご質問等ございますか？

無ければ事業系ごみに関しまして了承したということにいたします。

以上で予定されておりました報告事項につきましては終了いたしました。事務局から何か他にございますか？

事務局

はい、本日の報告事項は以上でございます。

次回の審議会でございますが、本年度、27年度中での予定はございません。

様々な議論が出て来るかもしれませんが、その時はまた市からご案内をいたしますのでどうぞよろしく申し上げます。

吉岡会長

はい、検討事項には無かったけれども1つだけ言っておきたいという様な要望等ありましたら今のうちにお願ひします。

無いようですので以上をもちまして全ての議事を終了致します。事務局にお返しします。

事務局

はい、長時間どうもありがとうございました。ではこれで本日の平成27年度第2回の審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

委員

ありがとうございました。